

平成27年1月（第1回）教育委員会会議録

1. 開催の日時及び場所

平成27年1月20日（火）17:00～19:01

宇部市港町庁舎 2階会議室

2. 出席委員の氏名

水田 和江 委員長

三原 節子 委員

赤川 宏 委員

田村賢二郎 委員

白石 千代 教育長

3. その他議場に参加した者

大下教育部長、森島教育次長、松田教育次長、佐貫理事、金重総務課長、野村学校教育課長、山脇社会教育課長、村上図書館長、上田副館長、西村総務課長補佐、小林総務係長

4. 傍聴者 3名

5. 趣 旨

委員長： ただいまから、平成27年1月20日の第1回教育委員会会議を開催いたします。

本日は、5人の委員全員の出席がありますので、会議として成立していることを最初に報告します。

委員長： 続いて、会議録の承認についてですが、前回の会議でお配りしています11月18日の第14回の会議録について、ご意見等ありましたか。

（全委員異議なし）

委員長： それでは、第14回の会議録については承認とさせていただきます。

続いて、12月24日の第15回の会議録の報告についてですが、机上に配付していますので、次回までにご覧いただき、次回の会議で承認を受けたいと思いますので、よろしくをお願いします。

次に、本日の会議録署名委員の指名についてですが、本日の会議録署名人は田村委員をお願いします。

委員長： 本日の議題は、「請願第1号 学校法人山口朝鮮学園山口朝鮮初中級学校への補助金再開についての請願」、「第二次 宇部市子どもの読書活動推進計画（案）について」の2件と、その他の事項として、「学校統合について」、「成人式について」、「寄附の報告について」の4件となっておりますが、本日は傍聴者があります。教育委員会会議は、公開を原則としておりますので、本日の議題について全て公開することによろしいですか。

（全委員異議なし）

委員長： 異議が無いようですので、本日の会議は、すべて公開とさせていただきます。

委員長： では、次第に沿って、初めに、「請願第1号 学校法人山口朝鮮学園山口朝鮮初中級学校への補助金再開についての請願」を議題といたします。

まず、請願の内容について、事務局、朗読をお願いします。

事務局：（件名と要旨を読み上げる。）

委員長： 請願の内容については、以上のとおりであります。

宇部市教育委員会会議規則第16条の規定により、請願者は委員長の許可を受けて、指定された時間を限度として、会議においてその事情を述べるができることとなっていますが、本日は、「補足意見を述べるために出席できる方の調整がつかない」とのことでした。

なお、請願者から1月14日付けで提出のあった補足意見書につきましては、既に各委員に配付させていただいております。このたびの請願に関しまして、これまでの要望書等により、各委員におかれては、その趣旨は十分に把握しておられると思います。

それでは、本請願について意見があればお願いします。

委員： 権利の問題とか、そのあたりについてもっと深いところがあると思いますが、今日までの段階を踏んで、根本的に間違っているかどうか、良く考えてきました。事務事業見直しの段階で止むを得ず廃止となりましたが、私としては現状で良いと思います。

委員： 大変難しい問題であると思いますが、請願について良く読ませていただきました。補足意見書の方も十分読ませていただきましたが、私たちはいつも、子ども一人一人を大切にすることを考えて、また、公平であることを念頭におきながら、教育活動に取り組んでいく必要があると考えています。このたびの見直しにつきましては、様々な事務事業の見直しの中で行われたものです。朝鮮学校以外にも本市の子どもたちが市外の私立中学校に通っているわけですが、そちらの方に助成金は計上していません。したがって、公平上という観点から朝鮮学校だけに助成金を計上することはできないと思います。そういった方向で考えています。

委員： 私も全く同じ意見です。事務事業の見直しということから、予算計上をしなかったことは、妥当であると考えています。

教育長： 山口朝鮮学園への補助金再開について要望等、事務局との今までの交渉について、事務局から丁寧な説明を受けています。今回の要望書、それから請願、補足説明書についても、良く読ませていただきました。宇部市教育委員会としては、子ども一人一人を大切にすることを基本にしています。そうなるように教育活動に取り組んでいるところです。山口朝鮮学園への助成金については、平成26年度予算における助成金の見直しということで、事務事業の見直しの中で予算を計上しないという判断をしたものです。

委員長： 子ども一人一人を大切にするというところは、基本的な態度、姿勢として教育委員会としても取り組んできているところです。今回は事務事業の見直しという中で、公平、平等に実施をしていく必要があると思います。

委員長： よろしいでしょうか。他にご意見はありませんか。

委員長： 無いようですので採決をしたいと思います。「請願第1号 学校法人山口朝鮮学園山口朝鮮初中級学校への補助金再開についての請願」についてこれを採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

(挙手するものなし)

委員長： 挙手は無いようですので、本請願は不採択に決定しました。結果につきましては、請願者に文書で通知することといたします。
それでは暫時休憩とします。

———— 休憩 ————

委員長： 再開します。

「第二次 宇部市子どもの読書活動推進計画（案）について」、事務局から説明をお願いします。

事務局： 「第二次 宇部市子どもの読書活動推進計画（案）について」前回からの修正点について説明します。
（資料により説明を行う）

委員長： 質問はありますか。

委員： はじめに、一斉読書とあるのは、平成18年から全小中学校で行っているということですか。

事務局： これまで、朝の読書活動としていましたが、全校ではなかったので、表現を変更しています。いつから行っていたかは確認します。

委員： 5ページに貸出冊数が増加したとありますが、これは、図書館の児童図書のみですか。

事務局： そうです。

委員長： 「読書離れを食い止めるまでには至りませんでした。」とありますが、図書館以外でも子供が本に接する場所はあると思いますので、図書館での貸出人数の減少傾向というだけでは、この表現は少しそぐわないと思います。

事務局： 表現を検討します。

委員： 学校の数で、37校と表記してあるところがありますが、一般の人にはそれが全小中学校の数であることを知らない人も多いと思います。全小中学校と表記したほうが分かりやすいのではないのでしょうか。それと、写真の説明に「移動図書館」と「あおぞら号」が使われていますが、揃えたほうが良いと思います。

事務局： 表記を変更します。

委員： イベントの写真について、もう少し詳しく説明が欲しいと思います。あとレイアウトの都合からか、記述と写真が離れているものがあるので工夫をお願いします。

委員長： 興味を持ってもらうためには、タイトルを工夫することについて検討をお願いします。

委員： 「本を読むことが好きな子どもの割合100%を目指します」という目標は現実には難しいと思いますが、目標値として掲げるという意味ですか。

事務局： 現実的な目標数値としては、年次的に設定してあるので、100%というのはスローガンとして掲げています。

委員長： 読書は強制されてするものではないので、表現を工夫されるよう要望します。

委員： 司書教諭の配置とあるのは、学校に常駐されているのですか。それと、図書

支援員はどの程度配置されていますか。

事務局： 司書教諭は常駐するよう法で定めています。来年度には1人1校体制を達成したいと考えています。図書館支援員については、全小学校校配置としていますが、1人が2校を担当する体制となっています。

委員長： 第5章のところで33ページの表と32ページの内容の関係性がわかりにくいので、32ページの文章に、サブタイトル等をつけたほうが読みやすくなると思います。また、32ページの図について、子どもの読書活動推進体制としては、あくまで図書館が中心となるべきで、他の機関と対等となるような図の表現ではなく、図書館が核となって連携をとっていくところが図で見える表現になるよう検討をお願いします。

委員： 中高生の読書離れについては、図書館の学習室の充実などが必要ではないでしょうか。

それと、図書館に行ったことがない小学生などにアンケート調査をしたことがありますか。

事務局： 全校を対象にしたことはありません。

委員： 図書館見学などで、図書館に連れて行けば、利用率も上がると思うので検討してください。

委員長： よろしいでしょうか。それでは、「第二次宇部市子どもの読書活動推進計画」の3月中の公表に向け準備をお願いします。

次に、「学校統合について」説明をお願いします。

事務局： （資料3により説明を行う。）

委員長： ただ今の説明に対して、ご意見ご質問はありますか。

委員： よろしいですか。次に「成人式について」お願いします。

事務局： 成人式の結果について報告します。

（成人式の結果について口頭で説明を行う。）

委員長： よろしいですか。続いて「寄附の報告について」お願いします。

事務局： （資料4に基づき、報告を行う。）

委員： 他に何かありますか。

委員長： 以上を持ちまして、本日の教育委員会会議を閉会とします。